



2019年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年8月9日

上場会社名 デンヨー株式会社

上場取引所 東

コード番号 6517 URL <http://www.denyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白鳥 昌一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員管理部門長 (氏名) 兎澤 俊哉

TEL 03-6861-1111

四半期報告書提出予定日 2018年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	11,847	12.0	598	62.1	698	70.0	458	117.5
2018年3月期第1四半期	10,575	0.3	369	36.9	411	37.0	211	47.0

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 635百万円 (%) 2018年3月期第1四半期 506百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	21.60	
2018年3月期第1四半期	9.94	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	70,464	54,909	75.1
2018年3月期	72,210	56,132	74.9

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 52,928百万円 2018年3月期 54,066百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		15.00		25.00	40.00
2019年3月期					
2019年3月期(予想)		20.00		20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,700	4.0	1,650	15.1	1,800	17.9	1,150	21.5	54.14
通期	52,700	5.0	4,600	17.9	4,900	17.0	3,200	15.9	150.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	22,859,660 株	2018年3月期	22,859,660 株
期末自己株式数	2019年3月期1Q	1,615,530 株	2018年3月期	1,617,052 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	21,242,572 株	2018年3月期1Q	21,236,397 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載の業績予想には発表日現在の将来に関する前提・見直し・計画に基づく予測が含まれており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。詳細は、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	6
3. 補足情報	7
(1) 製品区分別の販売実績	7
(2) 地域ごとの販売実績	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善などを背景に景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、世界経済は、米国経済は回復基調が続き、アジア経済にも持ち直しの動きが見られましたが、米国の通商政策への懸念や地政学的リスクの高まりなどにより先行き不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く事業環境は、国内においては、首都圏再開工事業や東京五輪関連工事業など建設需要は引き続き堅調に推移し、海外においては、米国市場では需要が好調に推移しましたが、アジア市場の回復に遅れが見られました。

このような状況の中、当社グループといたしましては、新製品のPR活動や提案型営業の推進、原価低減活動に注力してまいりました結果、売上高118億47百万円（前年同期比12.0%増）、営業利益5億98百万円（同62.1%増）、経常利益6億98百万円（同70.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億58百万円（同117.5%増）となりました。

セグメント別概況は次のとおりです。

(日 本)

日本では、国内向けは、堅調な建設需要を背景に、可搬形発電機の出荷が増加し、防災設備用の非常用発電機の出荷も堅調に推移しました。海外向けは、米国向けに大型発電機の輸出が増加したことから、売上高81億55百万円（前年同期比17.6%増）、営業利益1億59百万円（前年同期は1億35百万円の営業損失）となりました。

(アメリカ)

アメリカは、堅調な景気を背景に建設需要が堅調に推移しており、レンタル市場向けに発電機の出荷が増加したことから、売上高25億88百万円（同24.3%増）となりました。一方、原材料価格の上昇などにより、営業利益2億89百万円（同4.4%減）となりました。

(アジア)

アジアは、インフラ整備工事業向け大型発電機の出荷が減少したことから、売上高10億6百万円（同29.7%減）、営業利益1億4百万円（同6.7%減）となりました。

(欧 州)

欧州は、発電機の出荷が減少したことから、売上高95百万円（同22.4%減）、営業損失5百万円（前年同期は6百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、452億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億49百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の増加14億14百万円や、受取手形及び売掛金の減少28億2百万円などによるものであります。

固定資産は、251億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億96百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産及び無形固定資産の減価償却等による減少2億58百万円や、保有株式の評価替による投資有価証券の減少3億97百万円などによるものであります。

この結果、資産合計は、704億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億45百万円減少いたしました。

(負債)

流動負債は、119億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億44百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少5億65百万円などによるものであります。

固定負債は、35億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億78百万円減少いたしました。これは主に、保有株式の評価替等による繰延税金負債の減少2億31百万円などによるものであります。

この結果、負債合計は、155億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億22百万円減少いたしました。

(純資産)

純資産は、549億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億23百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上4億58百万円や、配当金の支払5億52百万円、その他の包括利益累計額の減少10億44百万円などによるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.2ポイント上昇し、75.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、国内においては、東京五輪関連工事業やインフラ老朽化対策工事業など建設需要は堅調に推移するものと期待されますが、海外においては、米国の通商政策の動向など予断を許さない状況が続くものと予想されます。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、中期経営計画「Denyo2020」の各種施策を着実に実行してまいります。

連結業績予想につきましては、2018年5月10日に公表いたしました予想から変更はしておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,870	15,284
受取手形及び売掛金	21,479	18,676
有価証券	999	999
商品及び製品	5,254	5,159
仕掛品	1,184	1,227
原材料及び貯蔵品	3,312	3,757
その他	242	186
貸倒引当金	△6	△5
流動資産合計	46,337	45,287
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,121	6,888
機械装置及び運搬具(純額)	1,789	1,611
土地	4,841	4,832
建設仮勘定	197	405
その他(純額)	196	186
有形固定資産合計	14,147	13,923
無形固定資産	471	437
投資その他の資産		
投資有価証券	10,822	10,424
その他	436	396
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	11,253	10,815
固定資産合計	25,872	25,176
資産合計	72,210	70,464

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,554	8,989
短期借入金	210	210
未払費用	595	1,194
未払法人税等	473	229
賞与引当金	648	388
役員賞与引当金	74	18
製品保証引当金	108	108
その他	655	837
流動負債合計	12,319	11,975
固定負債		
長期借入金	1,062	1,105
繰延税金負債	1,877	1,646
退職給付に係る負債	486	476
その他	330	350
固定負債合計	3,757	3,578
負債合計	16,077	15,554
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,954	1,954
資本剰余金	1,779	1,779
利益剰余金	46,620	46,527
自己株式	△1,621	△1,621
株主資本合計	48,733	48,640
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,617	4,365
為替換算調整勘定	756	△40
退職給付に係る調整累計額	△40	△37
その他の包括利益累計額合計	5,332	4,287
非支配株主持分	2,066	1,981
純資産合計	56,132	54,909
負債純資産合計	72,210	70,464

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	10,575	11,847
売上原価	8,201	9,111
売上総利益	2,373	2,735
販売費及び一般管理費	2,004	2,136
営業利益	369	598
営業外収益		
受取利息	7	6
受取配当金	63	77
受取家賃	16	20
為替差益	—	26
その他	10	5
営業外収益合計	98	136
営業外費用		
支払利息	12	8
売上割引	5	4
為替差損	13	—
持分法による投資損失	19	21
その他	5	2
営業外費用合計	56	36
経常利益	411	698
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産処分損	0	2
特別損失合計	0	2
税金等調整前四半期純利益	411	696
法人税、住民税及び事業税	199	300
法人税等調整額	△48	△124
法人税等合計	150	175
四半期純利益	261	521
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	211	458
非支配株主に帰属する四半期純利益	49	62
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	691	△253
為替換算調整勘定	△448	△907
退職給付に係る調整額	△0	3
持分法適用会社に対する持分相当額	2	1
その他の包括利益合計	245	△1,156
四半期包括利益	506	△635
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	512	△585
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	△49

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額
	日本	アメリカ	アジア	欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,937	2,082	1,431	123	10,575	—	10,575
セグメント間の内部売上高又は振替高	617	77	738	0	1,435	△1,435	—
計	7,555	2,160	2,170	123	12,010	△1,435	10,575
セグメント利益又はセグメント損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	△135	302	112	6	285	83	369

(注) セグメント利益又はセグメント損失の調整額には、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額
	日本	アメリカ	アジア	欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,155	2,588	1,006	95	11,847	—	11,847
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,287	81	694	0	2,064	△2,064	—
計	9,443	2,670	1,701	96	13,912	△2,064	11,847
セグメント利益又はセグメント損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	159	289	104	△5	548	50	598

(注) セグメント利益又はセグメント損失の調整額には、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 製品区分別の販売実績

(単位：百万円)

製品区分の名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	増減	前期比 (%)
発電機関連	7,937	9,180	1,242	15.7
溶接機関連	1,113	1,229	115	10.4
コンプレッサ関連	232	236	3	1.4
その他	1,291	1,201	△89	△6.9
合計	10,575	11,847	1,271	12.0

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 地域ごとの販売実績

(単位：百万円)

地域の名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	増減	前期比 (%)
日本	5,403	6,422	1,018	18.8
アメリカ	2,475	3,458	982	39.7
アジア	2,067	1,496	△570	△27.6
その他	628	470	△158	△25.2
合計	10,575	11,847	1,271	12.0

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。